

## 令和3年度 第2回理事会

令和3年10月1日(金) 15:30~

I 会場: Zoom 会議

II 出席者: 錦織 荒木 領家 高野 吉岡 赤沼 石川 兒玉 青戸  
藤原 池田 糸原 杉原 豊田 野津 堀川 高橋 ( ) 委任)

III 報告事項

《総務》

・会員の動向 456名(入会21名) 令和3年9月30日現在

《企画》

・コロナ禍の現状を鑑み、今年度の「検査と健康展」は中止(企画書は提出済み)

《学術》

【終了した研修会】

・8月1日(日)	生物化学分析部門研修会①	参加者 51名
・8月29日(日)	臨床血液部門研修会①	参加者 89名
・9月4日(土)	臨床微生物・染色体遺伝子部門研修会	参加者 21名
・9月7日(火)	臨床生理部門研修会	参加者 43名
・9月18日(土)	臨床一般部門研修会	参加者 41名
・9月19日(日)	臨床血液部門研修会②	参加者 70名

【予定されている研修会】

・10月31日(日) 中四国支部輸血細胞治療部門研修会  
・11月14日(日) 生物化学分析部門研修会②

《西部》

・浜田市健康福祉フェスティバルは開催中止

《会長》

世界アルツハイマー月間事業について

HPをオレンジ色(宍道湖夕景)にチェンジした。日臨技からも好評

10月になったので現在は元通りのHPへ

IV 審議事項

① タスクシフト指定講習会について 承認

基礎講習受講済者(9/18現在) 全国 1095名

(9/24現在) 島根 14名(うち理事8名)

未受講の理事は早めに受講するよう依頼

10/10 岡山で実務者講習: 島臨技からは4名参加

→ 島根開催へ。年度内に1回目開催を目指す

1回60名定員、早めに開催予定をお知らせして受講を促す

実務委員用運営マニュアルを理事へ送付済、各自確認依頼

実務者用動画も公開済、各自視聴依頼

実技講習企画時の留意点等も確認の上、企画すること

② 臨地実習指導者講習会について 承認

実習施設 現在は2施設 当面、1施設につき1名の受講が可能

島根大学 新田江里氏が10/31に受講（web）予定

③ 島臨技役員改選について

まず次期役員について継続意向調査を行う予定

役員が松江日赤、島根大学、県立中央病院に集中、固定されている傾向にある

会員が6名以上いる施設すべてを対象に理事選出を考えてもよいのではないか？

会長、事務局長、経理が同施設から出ているのは技師会組織としてよくないのでは？

理事にしても学術部門長にしても、各施設にもっと協力を求める必要があるのでは？

会員数が多いことを理由に複数名選出を依頼されるのは違うのではないか？

打診ではなく、各施設から1名ずつは選出して頂くことも必要ではないか？

④ 役員推薦委員について （保留分も含め、後日決定）

青山 真理 氏 松江赤十字病院

和田 進 氏 益田赤十字病院

馬庭 祥平 氏 島根県済生会江津総合病院

足立絵里加 氏 島根大学医学部附属病院

公田 幸子 氏 島根県立中央病院

佐藤 悦子 氏 雲南市立病院

⑤ 災害対策マニュアルについて 承認

11月25日説明会 各県2名参加 荒木副会長、吉岡理事 に依頼

WEB講習は後日オンデマンド配信される予定であるので、理事全員の受講を依頼

⑥ 品質保証施設認証制度について 2022年6月から

全施設が認定を受けてもらうのが理想

⑦ 「新人研修会」及び「新年賀会」の開催の有無について 承認

意見) 新人研修会だけでも開催してはどうか (対象者は70名程度)

開催に当たっては感染対策を考えると内容は検討が必要か？

新年賀会は控えるべきか？

新人研修の趣旨を考えるとWEB開催は意味がないか？

結論) 新人研修会は時期を見て開催を検討

新年賀会は今年度も中止

## VI その他

① COVID19 抗原キットが薬局販売される

② 精度管理報告会、島根医学検査学会

Web で開催の方向で検討。4 月以降か

同日開催か？別日開催か？ → 別日開催を希望（1 日 WEB の前に座るのは大変）

Zoom では配信形式も可能

企画担当の持ち回り、運営方針に関しては今後要検討

③ Zoom 10 月から参加者 300 名対応可

## VII 次回理事会について

年内にもう 1 回開催予定 日程調整後連絡